

活動報告

団体名	一般社団法人 いっぽん															
活動名	被災された方々の心身の疲労や不安を軽減させるためのマッサージケア活動															
活動期間	2018/09/10 ～ 2019/03/31															
活動の成果	<p>【マッサージケア活動の成果】（①対象者 ②活動回数 ③延べ人数）</p> <table border="0"> <tr> <td>① 安平町追分法養寺さんにて在宅避難者</td> <td>② 15回</td> <td>③ 206人</td> </tr> <tr> <td>① 安平町追分応急仮設住宅談話室にて居宅者</td> <td>② 4回</td> <td>③ 22人</td> </tr> <tr> <td>① 安平町災害ボランティアセンターの職員</td> <td>② 1回</td> <td>③ 10人</td> </tr> <tr> <td>① 安平町役場及び社会福祉協議会の職員</td> <td>② 2回</td> <td>③ 31人</td> </tr> <tr> <td>① むかわ町穂別支所の職員及び在宅避難者</td> <td>② 2回</td> <td>③ 20人</td> </tr> </table> <p>【活動を通じて気付いたこと】</p> <p>震災から半年が経過した今も尚、在宅の多くの方々が余震に怯える日々を過ごされているということ、マッサージ時の談話コーナーで住民様からお話を伺う中で気付くことができました。被災者の刻一刻と変化する心情やニーズをしっかりと受け止め、その時々最適な支援の在り方を模索し、住民様に寄り添った支援活動を継続して参ります。</p> <p>【活動を通じて感じたこと】</p> <p>震災から3ヶ月を節目に、殆どの支援団体が撤退していく中、今も継続支援を続けている団体は、非常に少ないと感じています。当団体は胆振東部地震をきっかけに立ち上がった唯一の団体であるため、この度の経験を活かし、今後起こりえる災害に備えていきたいと考えています。</p>	① 安平町追分法養寺さんにて在宅避難者	② 15回	③ 206人	① 安平町追分応急仮設住宅談話室にて居宅者	② 4回	③ 22人	① 安平町災害ボランティアセンターの職員	② 1回	③ 10人	① 安平町役場及び社会福祉協議会の職員	② 2回	③ 31人	① むかわ町穂別支所の職員及び在宅避難者	② 2回	③ 20人
① 安平町追分法養寺さんにて在宅避難者	② 15回	③ 206人														
① 安平町追分応急仮設住宅談話室にて居宅者	② 4回	③ 22人														
① 安平町災害ボランティアセンターの職員	② 1回	③ 10人														
① 安平町役場及び社会福祉協議会の職員	② 2回	③ 31人														
① むかわ町穂別支所の職員及び在宅避難者	② 2回	③ 20人														
寄付者へのメッセージ	<p>この度は、北海道胆振東部地震に際し、多大なるお心遣いを賜り誠にありがとうございました。今日まで支援活動を継続できたことは、真心のこもったご寄付、ご支援をお寄せくださった方々のお力によるものであると、重ねて御礼申し上げます。</p> <p>現在、支援活動を行っている、安平町は震度6強の大変強い揺れに見舞われ、甚大なる被害を受けました。人口約8,000人と小さな町ではありますが、殆どのご家庭の食器が7割以上も割れるほどの激しい揺れだったとお聞きしています。半壊以上の判定を受けた住宅が400件以上と広範囲に渡り被害を受けている状況です。</p> <p>このような状況の中、4月以降も「支え愛ボランティア団体 いっぽん」は、出来る限りの支え合い活動を、永続的に続けて参ります。</p> <p>今後とも、北海道の支え愛の輪を拡げ、持続可能な社会の創造を目指し邁進して参る所存です。皆様の一層のご健勝を心よりお祈り申し上げます。</p>															

(活動のようす)

